

# こぼれ話

古稀前後の年代の食生活は共通点が多い。肉や甘いお菓子などは中々口に入らなかつた。宮古地方ではカレーライスには肉でなくスルメ等の魚介類が充てられることは珍しくもなかつた。中学生や高校生でスポーツをしている生徒はなかでも肉が食べたくてどうしようもなかつた。豚肉の細切がカレーに入ると「ワー肉だ！」と叫ぶほどだった。

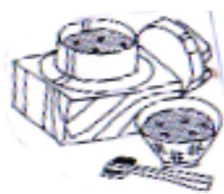
## わが家の



### 「イカと大根の腑入りの和え物」

「材料」スルメイカ、大根、醤油、みりん、砂糖、出汁の素。

「つくり方」いまスルメイカが獲れているようであれば店頭に並んでいます。小ぶりのものが3杯入って200円程度です。旬のスルメイカは刺身でよし、煮物で良しの最高の材料で



スルメイカは刺身でよし、煮物で良しの最高の材料で

た。ある家庭の母さんは息子に肉が食べさせたかった。が家計が大変でハムにした。息子には「ハムを勝手に食べんなよ」と念を押した。息子はクラブから帰った。なにもかも腹が減りついハムにかぶりついた。そして知らぬ顔をした。母がハムがないのに気づき、息子を問い質し、そして激しく叱った。「なんで約束を守んねえんだ。この小馬鹿たれが！母さんがなんでこんなに怒るかわがが？それは親に歯向うがらだ！」(歯向かう?)

すよね。①大根は銀杏切にし水に浸けておきます。スルメイカは洗い輪切りにしておきます。手足はぶつ切りに。腑は墨の管(黒く細い管が張り付いている)を手で取り除きます。これを取らないと真っ黒になります。②鍋に水と大根を入れ火を通します。③大根に火が通ったら身と手足と腑をいれます。腑は良くかき混ぜます。④醤油少々、みりん、砂糖少々を入れ味を調えます。この料理は腑を入れることにあります。腑が入ることにより味がピシッと決まります。(重茂/K・K)

## 第3セクター

### 宮古管内5会社で経常利益赤字は株グリーンピアのみ

#### 工事関係者の宿泊減が要因か

宮古市が出資する法人(第3セクター)の平成29年度決算が示されました。市が出資する第3セクターは、○株宮古地区産業振興公社○株新里産業開発公社○株川井産業振興公社○株グリーンピア三陸みやこ○南川井交通の5社です。

経常利益赤字はグリーンピア三陸みやこ

グリーンピアの昨年度の決算概要は、○売上高2億5454万円○売上原価7504万円○売上総利益1億7950万円○販売管理費2億2759万円○営業利益▼4809万円。これに営業外収益(指定管理料3518万円等)と営業外費用を加減し○経常利益は▼

1161万円の赤字決算です。赤字の要因は復興工事関係者の宿泊減

グリーンピアへの昨年度の宿泊者数は2万7549人で、そのうち工事関係者+営業マンで1万317人でほぼ半数を占めます。数年前(2015年〜16年)は2万人程だったことからこの減が大きな要因と言えます。

復興需要・工事は数年で収束する/新たな集客対策が求められる

復興需要が収束することにより、

とは地域経済全般に大きな影響を与えます。グリーンピアに限らず宿泊業も当然その影響をものに受けます。

フェリーで来宮する観光客をどう呼び込むか、三沿道の開通を見通した集客戦略など、宮古地域全体としての計画立案は当然のこと、各施設・事業者の手腕も問われます。

グリーンピアには他にない屋外施設などがあり、これらを生かした集客計画とその展開が求められています。



## 読者の文芸欄

満腹に食べるもすぐに腹減りて米粒少なき大根の飯

「あと何軒?」「あと何軒・・・」と五回言い体調悪き日の配達

の朝

自注/やつとつゆあけになつたよつでよかつたです。

短歌

金沢邦臣(田鎖)

## 旅客数は計画以上だがトラック・物流は想定内?

### 交流人口増へ滞在型観光に力を

#### フェリー就航



宮古室蘭フェリー就航から1ヶ月半が経過しました。川崎汽船から運行実績の公表はないですが、過日の新聞報道から多少なりとも傾向がわかりました。

平成30年度(6月~来年3月)の目標値は

今年の6月から来年3月までの目標値は、●トラック18000台●旅客数17000人●乗用車8800台です。

これを一日あたりに換算すれば、●トラック64台●旅客60人●乗用車31台、となります。

7月21日の実績はどう

か

新聞報道によれば7月21日の実績は、●トラック4台(バイクは19台)●旅客104人●乗用車16台という運行実績です。

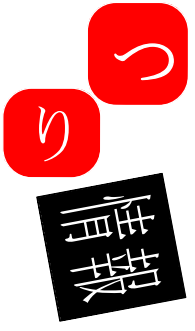
計画数を上回っているのは旅客数の1.7倍(104÷60)のみで、物流の柱のトラック台数は計画値の10%(4÷64)、乗用車52%(16÷60)という状況です。断片的な実績数字で判断するのは早計ですが、関係者の意見も含め「旅客数は健闘、物流はこれから」という状況です。

半日、一日でも滞在していただく受入態勢を

過日紹介した茨城県大洗の例などからも、滞在型にする上で県市のイニシアチブが重要です。



勢の見事なヤマメである。午後3時納竿。ヤマメ9尾、イワナ2尾。合羽を着ての釣りだった。「大きいヤマメとイワナはムニエル、あとはから揚げす。大川はいい！」



お盆前に現地調査を、と甥のことを考え大川七滝周辺に出かけた山口の釣り吉。七滝手前数百円前後は恰好のポイントである。深瀬が連続し、底石がありスパーが期待できる場所である。連日のような雨で水量が増えており、大物が潜んでいるように見える。

エサはミミズとブドウ虫。脈釣り、竿は6・4mの軟調竿。笹濁りである。朝6時第1投。底石の3番目を過ぎたポイントで一気に竿が絞られ。「きた!」。竿を立てる。耐えること30秒。幅広21センチの見事なヤマメである。